# アタゴオル物語 3

ぱるぱらん

ますむら・ひろし作品集［三］

Hiroshi MASUMURA

ATAGOUL

サヤサヤと吹く風のにおい。
森に差しこむ月明り。
金色にゆれるすすきの原。
蛇腹沼の底に沈む万華鏡。
豊潤な夢、透きとおった詩情。
アタゴオル
〝力〟では、たどり着くことのできない世界。

朝日ソノラマ

朝日ソノラマ
Hiroshi MASUMURA
ATAGOUL
ますむら・ひろし作品集［三］
アタゴオル物語
3
ぱるぱらん

【収録作品】



定価730円 ISBN4-257-90096-2 C8279 ¥730E

Hiroshi MASUMURA
ATAGOUL

ますむら・ひろし作品集[三]

# アタゴオル物語3
## ぱるぱらん

サヤサヤと吹く風のにおい。
森に差しこむ月明り。
金色にゆれるすすきの原。
蛇腹沼の底に沈む万華鏡。
豊潤な夢、透きとおった詩情。
アタゴオル
〝力〟では、たどり着くことの
できない世界。

目次

しゅるしゅる ぱあん
イエッ

……それでは

これからは大いに悪いことをしよう!! 悪事を働こうっ
オウッ
ところで親分手始めに何をやりましょうか
盗みでもやろうか
いいぞっ
さんせい
ようしさっそく今夜からはじめよう
ぐおっ
いよいよ明日か
今年のは去年より大きいらしいよ
へーっ

親分 今夜は
どの家に
します?
オレたちゃ
欠食
ドラネコ団!!
ぐーっ
ぐーっ
ようし
あそこに
しようぜ
シクシク
うう
ふ〜む
コチ
コチ
コチ
コチ
コチ
コチ
コチ
コチ

……どうやらここは何かの工場らしいな
コチコチコチコチ
うっ
食いものはないみたいですぜ
これはいったい何でしょう
う〜む
コチコチコチコチ
ようしこれをひとつかっぱらっていこう
ぐーっ
オレたちゃ欠食ドラネコ団
かつおみりんに鰯ぼしこ
ぐーっ
食べても食べても腹ぺこだ
ぐーっ
ガバッ
コラうるさいぞっ

……へっへっへっ


ドラネコ団に手むかうとはなまいきな奴


野郎やっちまえ
ぐーっ
なんだとおっ
スクッ


それえっ
ボムッ


うっ
ガッ
せっかく眠っていたのに
ドスッ


このやろうっ
ボリッ

オレは寝起きが悪いんだぞおお
う!
うあ野郎どもひきあげろ
まてこのやろっ

ばかやろっ
プッ

……ん？
コチコチコチ

なんだろうこれは？
？？？？？
コチコチコチコチ

フフッ

そのよく日

うちにもらって行こう
ニャコニャカウ〜ッ

ガヤガヤガヤ
いらっしゃい
パー！
三つ下さい

朝からお祭りさわぎだよ
毎年のことさ

しかしもう
できてる
かな?
見に行って
みようぜ

ようし
最後の
点検だ
はい
こんにちは
コチ
コチ
コチ

よう
テンプラ

もう
できました
か?

ごらん
のとおり
花火の
方は
すっかり
でき上
がってるよ
コチ コチ コチ コチ
コチ コチ コチ コチ
コチ コチ コチ コチ

あとは
今夜の
花火大会を
まつばかりさ

へーっ
花火の玉って
こんなに
大きいのか
コチコーチコチ

コチコチ
すごい音だなあ…
これは時限花火だからね
コチ コチ コチ コチ コチ コチ コチ コチ

時限花火?

親方大変だ
花火が一個たりません
え!!
コチ コチ コチ コチ コチ コチ コチ コチ コチ コチ

そう……
時間が来るとひとりでに爆発するんだよ
コチ コチ コチ

かぞえまちがいじゃないのか?
いやっ!!
一個たりません

63
64
コチ コチ コチ コチ コチ コチ

68
69
!!
……
ほんとだ
一個たりない

ム!!

おい
みんな
来てくれ

ひとつ
もらってくぜっ!!
欠食ドラネコ団

欠食
ドラネコ団?

花火なんか
盗んで……
いったいどう
するつもり
なんだ!!
親方
まだら玉が
ありません

盗まれたのは
まだら玉か…

まだら玉は
何時の
予定だ!?

あれはでかい花火だから

森のひとつやふたついっぺんに吹きとんでしまうぞ

それは大変だ

一方そのころ

ヒデヨシの家

うーっ
これは いったい 何なのか
コチ コチ コチ コチ コチ

いくら 考えても さあっぱり わからん

ようし…… こう なったら
シャキッ

これで ブチ割って みよう

コチ コチ コチ コチ

フムッ
コテ
コテ
コテ
ようし
もっと強く
たたいて
みよう
しぶ
とい
やつだ
コテ
コテ
必ず
ぶち割って
やるぜぇ
コテ
コテ
コテ
ガーンガーン
あれ
？
コテ
コテ

ドキッ
らあ
タラッ
ぺっ
コテコテコテコチコチコチ
う〜〜っしかしうるさい奴だなあ
コチコチコチ
くそっ
もうあんなものすててしまおう
コテコテ
コチコチ

ドズズ
コチ
コチ
コチ
コチ
コチ

るるん
今夜は楽しい花火大会かあ

うーっ
腹へったなあ

コチ
コチ
コチ
コチ
コチ

親分今夜は何を盗むんですか?
ダンゴだ

ダンゴオッ

そうさっ
今夜は花火大会だ
ダンゴ屋のおやじが花火に気をとられてるスキに

こっそりとダンゴをいただくのさ

さすが親分だ
フフフッ さあ出発しようぜ

ぐーっ ぐーっ
オレたちゃ欠食ドラネコ団

おいどうだった

だめだよまったく手がかりなしさ
いろいろ聞いてみたんだけどドラネコ団なんてだれも知らないぜ

よわったなあ

紅まぐろ
おうヒデヨシ

イエッ
花火大会!!
イエッ
おまえ
それどころじゃ
ないんだよ

おまえ
ドラネコ団って
知らないか

ドラネコ団
?………
知らない
な……

それが
どうか
したのか
花火を
盗んだんだよ

何っ花火を
盗んだ
だとォ
くっそオう

それで
花火大会が
できなくなったのかあ

いや
盗まれたの
は一個
なんだ

コチコチ
音がして
まだらの
もようの
大きな玉だよ

コチコチ
音がする玉…?

え
本当かっ
あれ……
どこかで
……それ
見たぜえ

どこで見たんだ
え〜〜〜と……
……あれ？

思い出してくれよ

コ…コチ………
コチ…コチ…
コチコチ……

コチ…コチ…うるさい!!
ボム

そうだ
パン

思い出したのか
オウ

オレの家の庭にすててあるぜ

ええっ!!

おっ
これだっ
コチコチ

フーッ
まにあって
よかったなあ

ようし
いそいで
はこぼうぜ

……
これ…花火だったのか

ガヤ ガヤ ガヤ
ワイ ワイ
ガヤ ガヤ

あーっ これで やっと 花火が 見れるなあ……

シュル シュル シュル

イエッ

シュルシュル

ドーン

ブドウか……

パ

パリ

シュルシュル

今度はどんぐりだわ

しかしどんな風にしてあの花火を作るのかしら

すると今の花火にはドングリが入っていたのね
そういうことだね

花火の玉の中にブドウを入れると
ブドウの花火になるんだって
おやじがいってたよ

テンプラに
これあげるよ
えっ!!
めずらしい
腹のぐあいでも悪いのか
るんるん
ぷっくり
オレきょう
紅まぐろを
腹いっぱい
食ったのよォ
……
ゴォナ
ゴォナ
みなさま
まもなく17番
まだら玉が発射されます
いよいよ
一日探した
まだら玉か
……
オッ
シュルルルル
……おおこれは大きいぞ
イエッ

えんど

流れ星を呼ぶ男
THE HIDEYOSHI
KATSURA
CHA CHAMARU
TENPURA
BUCHIMARU

ぐーっぐーっ
オレたちや欠食ドラネコ団

早く流れないかなあ
トクトクッ

うーっ
おっ あいつは…

そう簡単には流れないよ

あっ 流れたっ

これで18個見たぜ

ぼくは14個だっ

う〜〜っ
オレは1個も見てないぜっ

よそ見ばかりしてるからだよ

よっ
よおし
こうなったら
……
フフフッ
モ、モゾ…
さっ
エヘエヘ
この星笛(ほしぶえ)でな……
ポ〜〜ッ
あれ
なんだ
今(いま)の音(おと)は？
！

イエッ
流れ星っ
わっ

すごい!!
流星群だっ
これは
いったい…?

イエッ
流れ星
イエッ
あっ

星笛だっ

えっ
星笛っ
ヒデヨシ
今その
笛吹いた
だろう
フフフッ
そうよ

いくらまっても
流れないから
こいつを吹いて
星を流してやったのさっ

博物館から
その笛を
ぬすんだ奴は
おまえだろう

まあね

まてーっ
ヒデヨシッ
スィーーッ
ポーッ
なにが
まあねだよっ!!
早く返しなっ
いやあよォ
あっ
コラッ
さらば
じゃっ
……星笛か……
ランランララ
せっかく
ぬすんだ
笛だもの
ようし
あれを
かっぱら
おうぜっ
返すわけ
には
いかないわ

ヘッヘッ
らん らんらら♪
よし 今だっ
ぐぉ
ガゴ
らん らん
らん らら
トコトコ
あれ なんだ あいつ
いてえっ
う
らん らら ら
トコトコ

バダッ

ズドーン
オクワ酒屋

ドドドド
なんだ
これは!!

流れ星だ
ヒデヨシの奴めっ!!

ズドドドッ

あいつの
通り道は
たしか
この辺なん
だが……

あっ
いたぞっ

ぐー
ぐー

ね…ねむってるぜっ
あれ…
ぐーぐーっ

ヒデヨシの奴 星笛 持ってないぞっ

ポーッ
モシャモシャ
パクパク

おもしれーっ
いいぞっ

ズドーン
うおう ぐーっ

カッチ おまえも吹けっ
うまい
モグモグ

ポーッ

うーっ
いい
ぞおっ

そういえば親分!!

さっきのデブ猫は花火大会の時オレたちとケンカした奴ですぜっ

なにっ
どっかで見た顔だと思ったら……あん時の奴かっ

ようし!! もっとこてんぱんにぶちのめしてやろう
ぐぉ

星笛をぬすんだ奴はだれなんだっう――っ

スコーン

だれだっ

……あれ

星笛を返して
ほしければ
"つるまき岩"まで来い
――欠食ドラネコ団

欠食ドラネコ団!!
またしても
こいつらかっ

うおのれえっ
ドラネコ団めえっ

ヒデヨシ　そのフロシキには何が入ってるんだい？

フフッ
心の準備だよおっ

ヘッヘッヘッ
モグモグ

こらドラネコッ
笛を返せっ

決闘で勝ったら返してやるぜ

決闘だとオッ

そうだ
2対2の決闘だ
こっちからはオレとカツラが出る

おまえたちの方からは…そこの人間とおまえに出てもらおう

よしっ

相手がまいったと
言った時
勝負は終りだ
戦いは1本勝負だぜっ
おう

いいか
1対1で
交代
しながら
戦うんだ

じゃ…オレ
ちょっと
準備する
から
チンプラ先に
戦ってくれ
よ
え?

では

パコーン
はじめっ

シュッ

ズババーン

ガギッ

ぐーっ

あっ
テンプラッ

うーっ
どっちにしようかなあ…

あいつ何やってんだ?

ギリギリ

はい おまたせーっ

うーっ
カツラ交代だっ
ぐおっ

む

うー!!

行くぜっ

ボスッ

らっ
ぐいっ

ぐおっ

ズダン

行けっカツラ
くそっ

ブーン
う
くっ

ド

出たカツラ落とし

シーン

このお
プクッ

ゴロン

うーっ
あっ
反則だっ
うるせえっ
フエかえせっ
うあっ
きたないぞっ
フエかえせ
くそぉ
こんなもの返してやるわいっ
ボシッ

ばかやろっ
フフッ
とりもどしたわ
さあ
その笛博物館に
返しな
うっ
やだよ
ズボッ
オクワ酒屋で
猫正宗をタップリ
ごちそうする
からさ
ねっ
猫正宗っ
ペタ
ホントだよ
ホント？
スッ
カポッ
よし
モゾ
モゾ
はい
ヒデヨシも
博物館に行か
ないか？
ニャン
うーっオレは
先にオクワ酒屋へ
行ってるよ

るんるん

博物館に行くには

こっちが近道なんだよ

へーっパンツはくわしいんだな

この笛穴がないよ
ええっ…

あれっ
うっ!!ほんとだっ

あっ

イエッ
えんど

# 魚（さかな）つりのサンバ

柿の実
栗の実
ランラン
あけびに
ざくろに
ロンロロン
おっ
いた
いた
おうい
チンプラッ
つれたかい？

ヒゲウオが五匹だよ

オッ
うまそーっ

栗の実一つでヒゲウオ一匹と交換しないか?
柿の実一個とならいいよ

柿の実かあ ようし!! いいよおっ

パク パク
カリカリ

おまえ……… 焼いて食った方がうまいんじゃないの
いーや 魚は生きたまま食うのが一番なのよお
パタ パタ

ザバッ

ザブー!

光る魚だっ
タラッ

うえっへへっへっ
うまそうな魚だなあ

あの魚を生きたまま食う…パクパクパク……
ううっ考えただけで涙が出てきちゃうわ

うーっオレがとっつかまえて食ってやるぜえっ

光る魚？
ええ
体中が金色でキラキラ輝いているんですよ
フーム……ほおづき沼にはそんな魚がいるのか
フフフッ もうすぐオレに食われる運命なのよォ
光る魚か そいつはつり上げてみたいなあ
パンツも行くかい？
うん 行こう
しかし あの魚にはどんなエサがいいんだろう
ふつうのエサじゃだめかもしれないぜ
そうだね 風鈴森のつり道具屋に行って聞いてみようよ

光る魚
あれを見たんかね

はい
オレも三年程前にあれを見てからしばらく追っかけてみたんだが……

実にりこうな奴でねえ
なかなかつかまらねえよ

どんなエサがいいんでしょうか？

あれにはよ……ダンゴにヨモギの汁をまぜた奴が一番だったなあ

ダンゴにヨモギの汁だとォ
なんてぜえたくな奴なんだっうう

ヨモギの汁にダンゴか……
オレよ家からつり道具もってくるわ
それじゃほおづき沼で会おうぜ
イエッ
ピクピク
おっ
ぐっ
バーッ
シュッ
ああまたやられたっ
うーっ
すばしっこい奴だなあ

お
ぐぐっ
バシ

かかったぞっ

あれっ

たしかに手ごたえはあったのになあ
さすがに つり道具屋の おやじが言っていただけのことはあるね

うん……これは手ごわい相手だよ

ハーイみなさん
おまちかねーっ

しょっと
ドダッ
?

さて…と

ド

あ〜っ
いい音だなあ
ドドーン
ドコドン
ドン
これ…おまえ魚つりに来たんだろう
そうだよ
ドコ
そのタイコはどうしたんだよ
フッフッフッ……おびきよせるのよ
このタイコの音であの魚をおびきよせるのよ
ドッ
まったく
何を考えてるもんだか
……
ヒデヨシうるさいからあっちでやってくれよ
ドド
イエッ
ドドコドン
ドドコ
ドンドコ

ドドドド
イエッ
イエッ
さかなっ
パクパク
うへうへ
むっ
チャプン
来たなっ
ぐ
そこだっ
ゴッ
ズバーッ
あっ

おおっ すばしっこい奴めっ
それっ
月の輪落とし
ズバッ
うあっ 火薬石を投げてるよっ
まったく もう!!
こらっ ヒデヨシ もっと向こうで やれよおっ
イエッ イエッ
あいつ わかってんのか なあ?
わかってる みたいだな
だんだん 遠ざかって行くよ
ドコドコドコドン
それから しばらくして
ズバッ
くっそお
トコ トコ
どうし たんだいっ?

火薬石を二十発も
ぶちこんだのに
すあっぱり
つかまんないのよ■

あの魚
すばしっこい
からなあ…

あら
いいニオイ
がするわ

フフッ

これっ
少し
食べても
いい?
ガバッ

いいけど……おまえ
それ 魚のエサ
だよ

では
さっそく

パク

くーっ
ダンゴの
味にヨモギの
汁がきいて
うめえよお

もうすぐ
陽が落ちる
なあ
美味!!
美味!!

きょうは
これくらい
にするか

そうだな
明日また
来ようぜ

キラッ
うあ

むっ
バシャッ

くっそう
明日こそ
つかまえてやるずおう

そのよく日
イエッイエッ
さかな
パクパク
うふふっ
ドコ
ドンドン

イエッ
よーっ
おそいじゃ
ないか

ちょっと
準備に
手間がかかった
もんで

きょうはモリを持ってきたのか
うふふっとっつかまえた魚をこれにつめて帰るのよ
オウッあの魚の腹にざあっくりとなっ
そのツヅラはどうしたんだい？
いろいろと準備してきたんだなあ
そうよォ
きょうこそ食ってやるのよォ
ドードコドー
あぶないから遠くでやれよおっ
にゃんにゃん
ドドーン

ここまでくればだいじょうぶだな

ガサガサ

これで
よしっ!!

ザボッ

むっふ

フフ
はい どうも
チョキッ
ぐいっ
ザザーッ
おっ
パシャ
ピッ

かかったぞっ

パッ

わっ

あれっ糸が食い切られてる

しかし今のはおしかったなあ
おっ来たぞっ
グイグイッ

パッ

うあ

フエフエ

ようしこんどこそつり上げてやるぞっ

ザバッ

イエッ ダンゴッ
イエッ

イエーッ
パタパタ

モグモグ
パクパク

いつつかまるかわからない魚より目先のダンゴの方が

ずうっとうまいのよォ

さて……と
ドドドドド
オエッ
よう

もりの方はどうだった?

二十本も投げたのに一本も当たらないのよォ

こっちの方はもう少しでつり上げそうになったんだよ
何度もいい所までいったんだぜ
へーっ
でもみんなつり糸を食い切られてさ

エサもつり針もなくなったからきょうはもう帰ろうと思ってたところなんだよ

そうかあ……でも明日があるじゃないか
とーぜん
明日こそつりあげてやるよ

それっ

ドンドコ
ドンドコ

ドドドードド
イエッ
さかな

イエッ
パカッ

ズルッ

イエッ
ブランブラ

しかし
きょうは
おしかった
なあ

うん
もう少し
だったよな

おしまい

ぱるぱらん

ギュッ
よう おやじさん

やあ いらっしゃい
何か おもしろい本は 入ってるかい？

おもしろい かどうか わからんが

ぐっ

スーッ

その青い 表紙の本は どうだい？

フーム

オレにはその古文字は読めないんだが……どんなもんだい？
おやじさんこれいくら？
銅貨二枚でどう？
よしいいね

ぱるぱらん……

イエッ
星ミカン

いよいよ今夜はネズミトランプ大会だな
ふふオレが一等になって星ミカンをひと山食べるのよォ

インチキやるんじゃないよ
おう!! 正々堂々となっ

あれ パンツの家はそっちじゃないだろう
こっちの方が近道だよ

ヒデヨシ ここは銀迷路の森じゃないのか
でもオレは迷ったことないよ

あれ

どうしたんだよ
テンプラ?
これは何だろうっ……
一
ガ

パンツの家

ピクともしないな
オレも前にひっぱったけどあかなかったのよ

フーム

そう!!銀迷路の森の中にある変なやつ……………

あれは 昔あのあたりに住んでいた木虎族のお墓だよ

お墓!?

フムフム

その実にふれる時瞳は時を止め

水に浮かぶ羽根に想いは宿る
——ぱるぱらん——

ばるばらん…

オレもう少しその本調べたいから 今夜のトランプ大会は欠場するよ
すおうか… それは ざんねんだなあ

ぐーぐーっ おれたちゃ欠食ドラネコ団

くくっ 唄を歌ってる時ではないっ
くっそ 道に迷ってしまったぜえ

それにしても腹がへったなあ
うーっ ダンゴが食いたいよォ
ぐぉ

どうしたカツラっ
あれ

なんだい
これは

おろっ

フーム
もしかしたら
この中に
ダンゴが入ってる
かもしれないぜ
ゴダッン

ダンゴ
ダンゴ
ぐぐっ

ゴダッン
ゴォ

おっ
開いてきたぞ
ゴゴゴゴ

うっ
ガサ
ガサ

ガリ
ガリ

そしてその夜
フム……
これは…
うまい

イエッ
星ミカン
がんばる
ぞっ

ヒデヨシ
こっちにも
落ちてるよ
オッ!!
それは
あとで食べよっ

ちゅ
おっ
上がりっ

ああーあっ
もう少し
だったのになあ

くそォ
くー
さっぱり
そろわない

ぐぐっ

星ミカン
あち

シャッ

これで私と
フーコちゃんが
二勝
ヒゲ丸が一勝
テンプラ君が
三勝だね
オレは
○勝か

………
なんと
しても

あの
星ミカンを
食べなくっ
ちあ!!

ようし
がんばる
ずおう

パカッ
キャッ
スススーーッ
ああ
変な花だなあ

綿がし花に似てるけど……ちがうみたいね

あれ
キラキラ光ってるぜ

ポン

フフッかわいい音ッ

さあさあみなさんつづきをしましょう
イエ星ミカン

シーーン

なんとしても星ミカンを食べたいのよォ

こうなったら……フエフエ
モコモコ

どうしたの?

あの花びら

お……
親方…
あれ
なんだか
眠くなって
きまし…たね

………
どうしたん
だろう
急に…

パタン

グゥ
スッ
スー
スー
スコ
スコ
スコ
あらん
みんな眠って
しまったわ

フフッ
眠り
花粉の
ききめは
すごいなあ

イエッ
星ミカン
イ
パタパタ
パタ

では
さっそく

フーム

その実にふれる時
瞳は時を止め
水に浮かぶ羽根に
想いは宿る
ぱるぱらん…か

どういう意味なんだろう
パラ
パラ
あれ
ペリ
葉紙が一枚
くっついている

これか…!!

ばるばらん
とはこの花の名前
だったのか……

瞳は時を止め
その実にふれる時
水に浮かぶ羽根に
想いは宿る

トランプ
大会は
だれが勝ったかな?

グー
グー

あれ
どうしたんだ?
あっ…
パンツ

なんだか
きゅうに
眠くなったんだよ
変よねえ

原因はこの
眠り花粉だよ
ヒデヨシのそばに
落ちていたんだ

あーあ
星ミカン
全部食ってるよ
ぐーごー
ぐーごー

オレ食って
ないよォ
信じて
くれよォ

それじゃ
この花粉は
どうしたんだよ
うう
信じて
くれよお

あれ
花びらが

四枚白く
なってますよ

いったい
どうしたんだろう
ううっ
ばるばらんの花だっ

えっ……
ばるばらんって
この花のことだったのか
うん
それにあの言葉の
意味もやっと
わかったんだよ

――その実にふれる時
瞳は時を止め――
――水に浮かぶ羽根に
想いは宿る――

その実というのは
これさ………

そして ばるばらんの
花の中心部が
瞳なんだ

すると
羽根は
どこに
あるんだ
ろう…

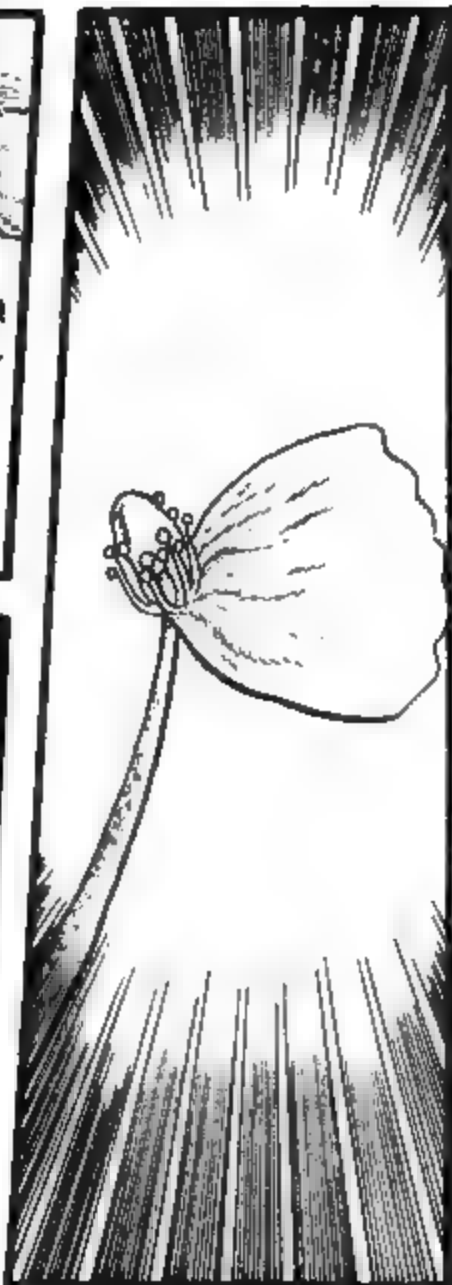
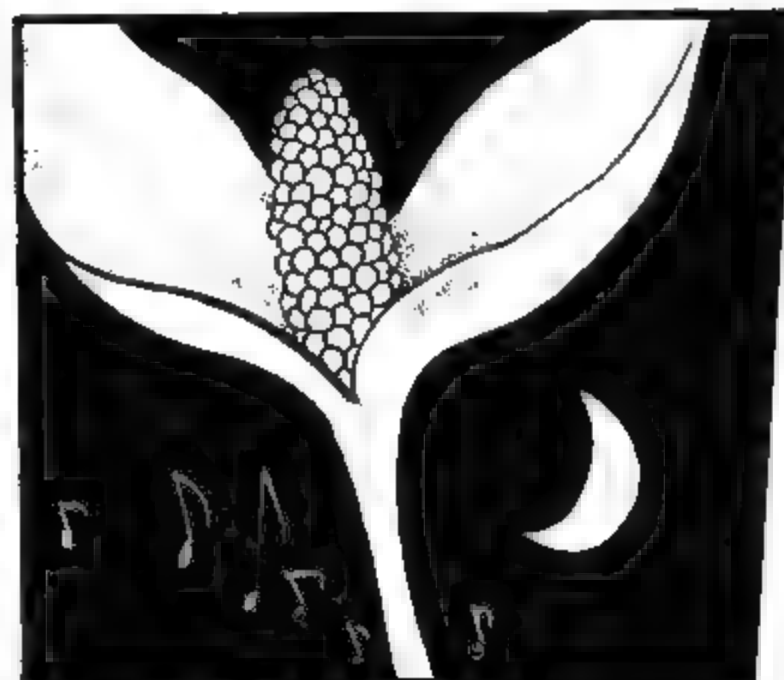
ヒデヨシ
ちょっと
この茎を
ゆすってくれ
ないか
いいよ

ぐいぐい

おおっ
あ

水に浮かぶ
羽根に
想いは宿るとは
このことだったのか

？？
唐あげさん
だれがぱるぱら
んの実に
ふれたんだい？
たしか
ヒデヨシ君が
さわりましたよ

そうか…
花びらに映っているのは
その瞬間のテンプラと
フーコちゃんの顔だよ

あれ

星ミカンを食ったのは欠食ドラネコ団だったのか

どうやらふたりしか映ってないところを見るともうひとりの奴が実をさわっていたんだな

あららら

でもよかったじゃないうたがいがはれて
うううう星ミカン
おっ

そうだ…
よう みんな こっちを むいて
ねえ これから オクワ酒屋に 行こうよ
さんせい
イエー

おしまい

# 蓮々森の音楽家

ぎぎーっ
がっごっごっごーっ

これをもちまして
唐あげ丸の夏の新曲
発表会を終わります
スク
パチ
パチ
パチ
ツオッ
サッ
ミン
ミーン
ミーン
ミンー
いやーーっ
実にスバラシイ
演奏でした
ホント!!
最後の曲など
体中がバイオリン
の弦にしばら
れるみたい
でしたよ
どうも!!
おほめ
いただいて
ありがとう

やはり音楽には

演奏者の性格が出てしまうようです…

そうですね…あの「桃色三日月のツメ跡」のように情熱的な演奏は唐あげ丸さん以外にだれもひけないですね

私もそう思います

ここ数十年間
色々な演奏を
聞いてきましたが
私は他人の
演奏に
感動したことがありません

常に感動は
この手の中から
聞こえてく のです!!

……あれっ

オオ……

すっすばらしい演奏だっ!!

いったいだれが演奏してるんだろう

お会いしたい!!ぜひその方にお会いしたいっ

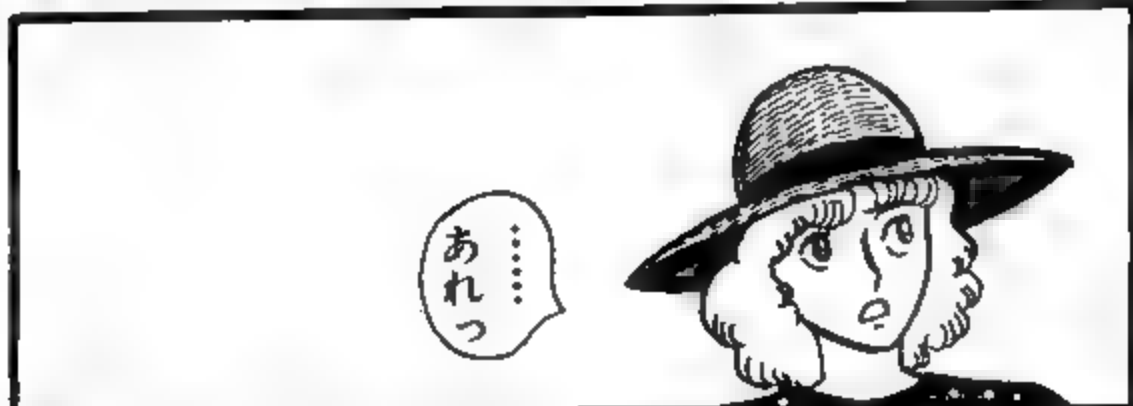
こっちだこっちの方から聞こえてくるぞ

!

演奏が止まったぞっ
フーム…どうしたんだろう

たしかこっちの方向から聞こえてきましたね
ええたしかに

あっ

オッ
ヒデヨシッ

これは
オレが作った
リンゴ笛
今まで演奏してたのよォ

ええっ
本当ですか!!

ちょっと
演奏して
みようか
スク
ええぜひ

では
……

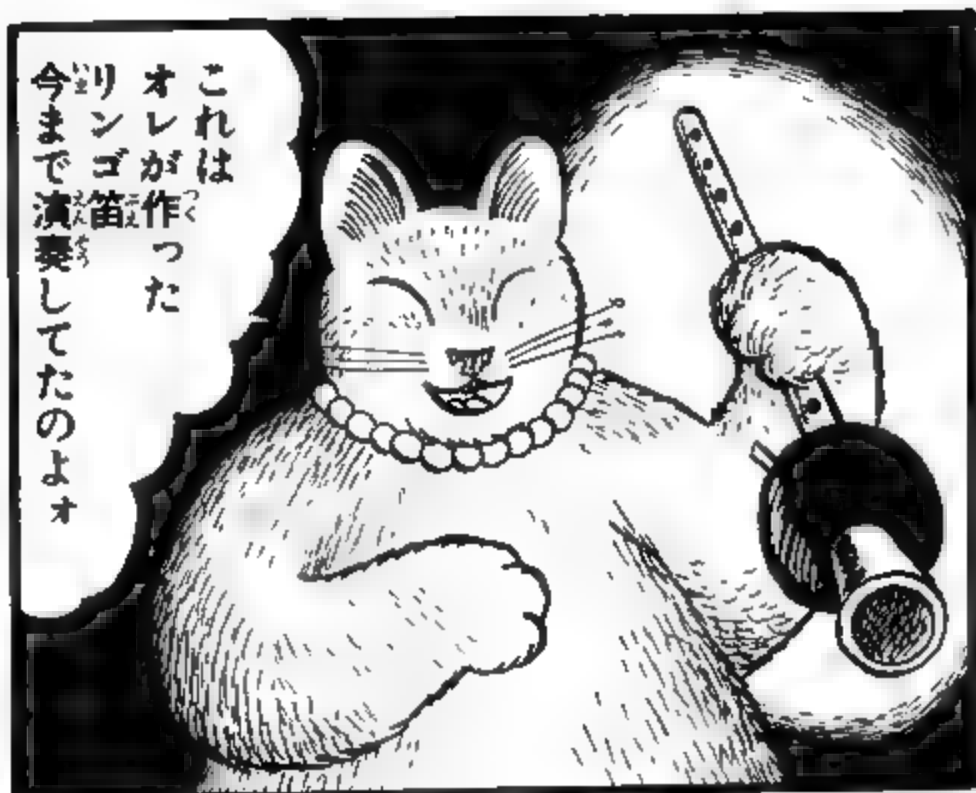
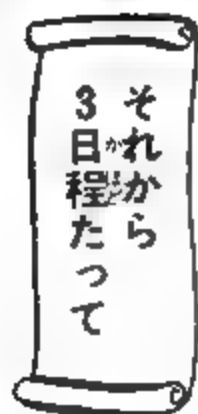
ボエエエーッ

ゾク

あっ
あっ
あぁっ
あっ
ボエ～ボエエッエッ

どう
いい音でしょ

ボエ〜〜
うっ
もっいいよ
それ
なあヒデヨシ
さっきほかの
音楽が聞こえ
ていただろう
それから
3日程たって
そういえば
あっちの方から
変なのが聞こえたな
よし!!
行き
ましょう

やっぱり見つかりませんか?
はい…

……3日間
蓮々森の中で
あの演奏者を
探しまわって
いたのですが
毎日演奏の始まる
時間が同じなのです
そして演奏する曲が
毎日違うのです

……暖かくて
生き生きしていて
本当に
ステキな
演奏でしたよ……

あ
なんと
しても
お会い
したい

…お会い
したい…

親方は
森で音楽を
聞いて以来
店の仕事に
手がつかず毎日
あぁして音楽家を
探しまわっているのです

そうか
ヒデ丸も
たいへん
だなあ
きょうは夏の夜の
音楽会の準備がある
から……よしっ
明日こそ
みんなで手分け
して森の音楽家を
探しだそう!!
そうして
いただけると
店も
たすかります
ボコボン
イエ……イエッ

んっんっんっ
フラッ
きょうは楽しい…音楽会……と
フラ
う〜〜っ酔っぱらったなあ
ミーンミンミンミーーッ
音楽会の会場に行く道は風鈴森をぬけた方が近いかな
そうだね
あれっ
ヒデヨシのマントだ…

おかしいな……
よし川上の方へ行ってみよう

ぐーっ
ぐーっ

おいヒデヨシどうしたんだ？
あ…テンプラ…

お……音楽会の前祝いをしてたのよ…

あれ…オレのマントがない…
そんな所で寝てるから　もう流れていったよ

うーーっまた…なくしてしまった…

こんばんは
お…毎度!!

フーム

お客さん
どうですか？

この型で色の青いのはありますか？

はいそれなら3階の方にありますよ
それじゃ今は暑くて着れないから…秋になったらそれを買おうかな

お客さん このマントはすずしいですよ

すずしい？

はい……これは着る人の好みの温度に変化するマントなのです
ですからこれを着れば夏でもスーッとすずしくなりそして冬のふぶきの中でもポカポカと暖かでいられるのです

そうですか!!
それじゃあ
青いマントを
ください

ありがとう
ございます
では
3階の方へ
どうぞ

どう?

ひんやりして
いい気持ちだよ

……あれ 月がずい分昇ってきたな
そろそろ行かなくちゃね

よーーし 景気よく音楽を鳴らしながら行こうぜ
いいね

プープカプカ
ジャカジャカ
ボーボコボン

え〜〜っ
それでは

夏の夜空に浮かぶ銀色の三日月に!!
かんぱーい
イエ
ポンポコ ポンポコ
ジャンジャン

次は水夫の唄

イエイエ魚っ
ドンドンドン
ギゴー
ギゴー

輝く海の真中で風を吸いこみ胸の帆あげりゃ
沈んだ想いが浮き上がる

ザザーザザンザザ波頭っ

オオッ月が沈むぞっ
ようし月光サンバを行くぞう

おっ月さん
イエイエ
お月イエイエ

唐あげ丸さん調子が上がらないみたいですね
はあ…

どうも蓮々森の音楽家のことが気になって気が入らないんですよ
そうですか…音楽会が終わったらみんなでさがしに行きましょう

ようテンプラギターかして
いいよ

ワオッお日様が昇ってくるぞ
ようし朝のごあいさつだっ

イエイエ
お日様お早よっ
お早よっ

ドビドビお早よっ

くっ

来る
え？

あの方が来るっ

どう
したんだ？
親方
しっかり

こちらに
あの方が
来るのです
あの蓮々森の
音楽家がっ
ええ？

ホラ
あの演奏が
かすかに
聞こえて
くるでしょう

ピクピク

ああっ
ん？

オッ
ホントだ
聞こえるっ!!

テンプラのマントから演奏が聞こえているんだっ!!
オオ!!
そっそのマントいったいどこで手に入れたんですか?
マント屋で買ったんだけど……そういえば
あの店は蓮々森の中にあるよ
そうか……でもどうして急に鳴り出したんだろう
……朝日が昇ってきてこのマントに陽の光があたったら演奏が始まったんだよ
陽の光か……
それは陽の光をあびると演奏を始めるマントだったのか?

しかし蓮々森での演奏はきまって昼すぎから始まっていましたよっ
フーム

テンプラ天窓だよ……あのマント屋の3階に天窓があっただろう
あそこから月の光が差し込んでいたじゃないか……

あっそうか……昼すぎになると
あの窓から陽の光が差し込んで……それで演奏が流れていたんだ

マントにあたる光の位置が変わるにつれて
音楽も次々と変わっていきました

やがて……みんなは気がついたのです
この音楽はマントが演奏しているんじゃなくて

マントにあたって
はじける光の音楽だと……

果てしなき水の旅

ドドドド…
ガサ
ガサ

ガサガサ

おっ
あったぞっ
ガサガサ

ホラ
こんどこそ星ミカンだぜっ

どれ
どれ
ガサガサ
フエ
フエ

これは
ただの
ミカン
だよ
ら

星ミカンには
うすい星型の
粒が見えるん
だよ

この辺のミカンの中に
星ミカンはもう
ないのかもしれないな
ニャンニャン
オレはあきら
めないわよォ

あれ
……
どう
したん？

夕陽はいつ見てもいいね……

なあヒデヨシ海に行かないか?
でも海は遠いぜ
オレは海なんかに行かないで星ミカンをさがすわん

ああ……また銀しぶき海に沈む夕陽が見たくなったなあ……
海か…

パンツをさそってみようかな

よう!!
あれ風々丸

フフッもう3年ぶりだなあ

どの辺まで旅して来たんだい?

銀しぶき海の波頭群島をぐるっとまわって来たんだよ
わっ……いいなあ
そうだ
ゴソゴソ
これとってもうまいんだよ
モシアモシア
パクパク
………どう？
う
けっこういけるよ
うめ……
うんめえぇ
これなんていう食べ物なんだい？
銀くじらのほしものだよ
銀くじらっ
いっいったいどこで手に入れたんだい

燈宮島へ
オレは
行くぜっ

にゅわう

ううっ桃色リンゴ丸か…
ひっさしぶりだなあっ
ちょっと見に行こうよ

やあ

あっ

ようパンツ
オレたちリンゴ丸を見に行くところなんだよ
そのリンゴ丸が大変なんだよっ

え

リンゴ丸が
縮んでるよォ……
3日前ここを通った時は大きな船のままだったのに……!!
いったいどうしたんだろう
……リンゴ丸はこの草でできているから
もしかしたらこの草が病気にかかったのかもしれないよ
病気か……
図書館に行って植物図鑑を調べてみよう
本読むのキライだからオレは行かないわ

「アタゴオルの植物」…これだな
ス ッ

フーム

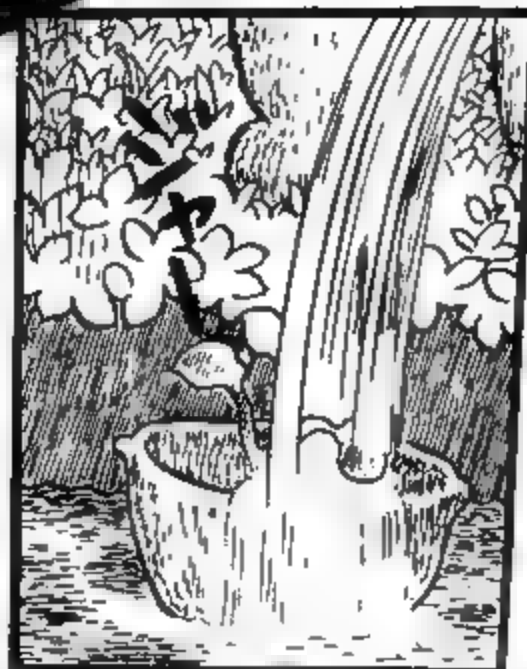
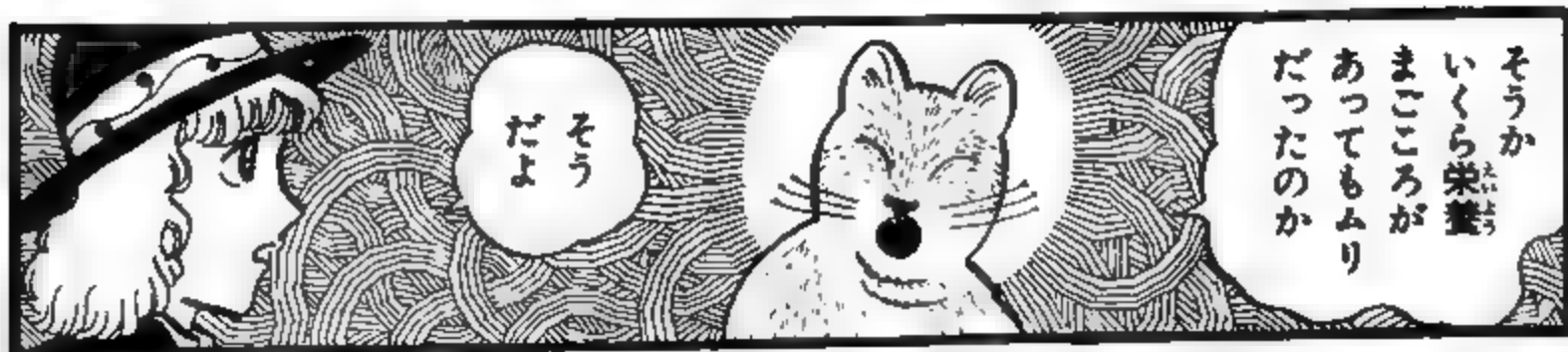
この部屋には見あたらないな
うん次の部屋に行ってみよう

それからしばらくして

!

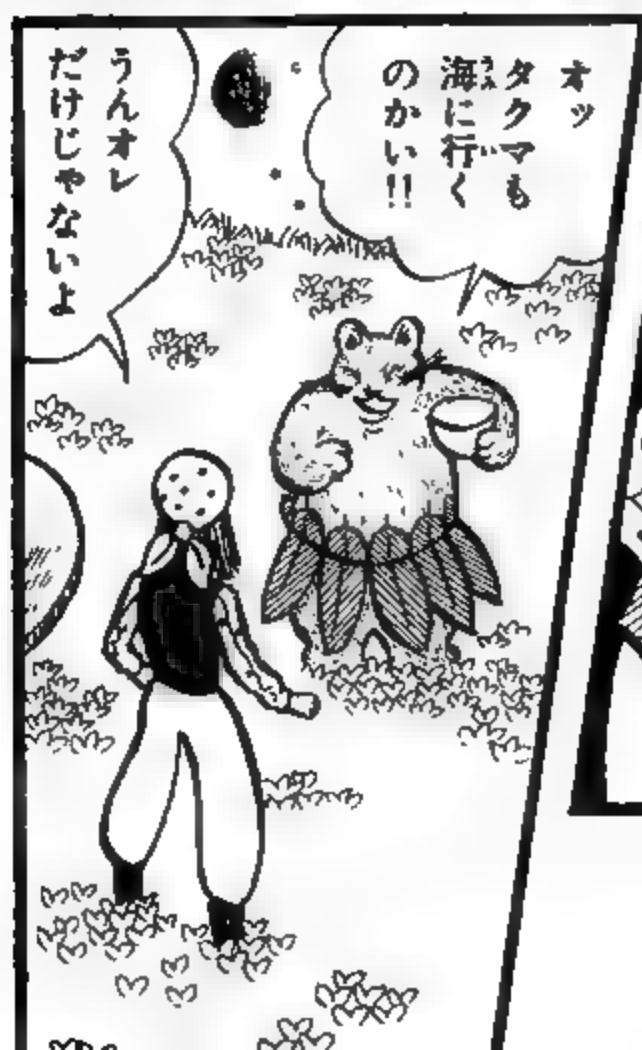
(註)1尾っぽ……80センチメートル

種は土中で
80年すごしたのち
成長してくるが
その後80年たつと
数日のうちに収縮して
種にもどる

あくる日の午後
あれヒデヨシなにをしてるんだい？
草に栄養をやってんのよ
図書館で調べたんだけどこの草　種にもどる時期らしいからなにをやってもムダみたいだよ
まごころだよ
フエッ！図書館なんて信じないもんね
テンプラ花にとって大切なのは図書館なんかじゃないんだよ
大切なのはねそだてる者の

……それは
そうだけど
ホラだんだん
縮んで行くよ
ザーッ
ううっ!!まごころが
まだたりないんだ!!
あう!!リンゴ丸が
縮んで行くよォ
そうか
いくら栄養
まごころが
あってもムリ
だったのか
そう
だよ
ら
よし今夜はオレの
体温であたためて
みよう

とこしえの
水面に映る
月と夢
——フ・ゴナ——

みなさま

こんばんは

ようヒデヨシ……
リンゴ丸は
どう
なった?

みんなでね
鷹あげ丸さんのふるさと
青猫島へ行ってみることにしたんだよ

あ

青猫島

それでね燈宮島をまわってから青猫島へ向かおうと思ってるんだ
イエッ
ようしこうなったらなんとしてもこのリンゴ丸をもとにもどしてやるぞォ
それはムリなんだから イカダで行こうよ
イカダか……フーム イカダもいいなあ……よし
イカダで行こう
オクワさんもいっしょに行きませんか？
行きたいけど店を休むわけにはいかないからね
チンプラなに考えこんでるんだい？
実はね ここに来る途中リンゴ丸の種の中から虹の文字が出てきたんだよ

フ・ゴナ!!
たしかリンゴ丸を造った猫の名だったね

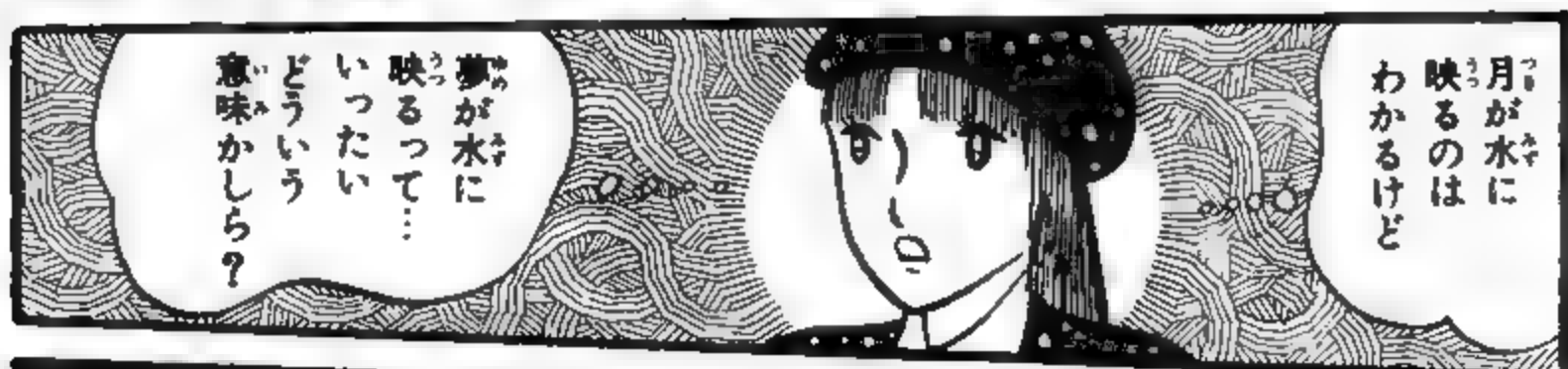
とこしえの水面に映る月と夢
──フ・ゴナ

虹の文字!!
いったいなんて書いてあったんですか?

……水面に月と夢が映る?

月が水に映るのはわかるけど
夢が水に映るって…いったいどういう意味かしら?

……ぼくはフ・ゴナのさしている夢とはなにかと考えてみたんだよ

フ・ゴナの夢?

うん……
それはもしかしたら
鉄風草でリンゴ丸を造ることだったのでは……

グラグラグラグラグラ

うっ

ゆれは
しばらくつづいて
やがてやんだ
フーッ
やっと
おさまったな
うーっ
いったい
どうしたんだろう

# とこしえの水面に映る月と夢

そうか80年で草が成長
するのを利用して
リンゴ丸が沈むとき
もう一せきのリンゴ丸が
成長するように種を土中に
うめていたんだ

よりによって…オレは
その土の上に
店を建てていたのか…

オクワさんも
海に行きま
しょうよ
こうなったら
行くほか
ないなあ
イエッ
猫正宗

その
よく日の
昼

おそいなあ
あっ
来たぜ
なんだあの
荷物は

イエ
イエッ

どうも
おまたせー
どうしたんだよ
その荷物
ヨロ

いろいろと小道具をもってきたのよう
よしこれで全員そろったね
フエッ 鯨くじらに星ミカンか……
青猫島かたのしみだな……
けーきよく音楽をかきならして行こうよ
オウ
イエッ 出発!!
ドン
ギィーコギィーコ
チャカチャカ
プカプカ
カンカンカン
ドンドコ
うへうへ

おしまい

パロパロ島

……こんなものは
波にくだかれてしまえっ
ザザーッ

フフッ
これで
安心だ……

ザザーッ
ザザーッ

ねえ
タクマ
燈宮島まで
あと何日かかんのよ〜っ
このまま
行って
二十日は
かかるなあ

うーっ
あと二十日も
船にいる
のかあ〜っ
たいくつ
だよォ
ホント!!
あきますねえ
オーイ
島が見え
てきたぞォ
あれは
パロパロ島
だな……
イエッ
島!!
船にあきた
三名は
パロパロ島に
行ってみることに
しました
ザザーッ
ニャンニャン
上陸だっ

あーっ なんだか ノドがかわいて 来たなあ
よし 酒屋をさがして いっぱいやろうよ
イエッ
ふう
ウヘウヘ 酒屋は どこかな
トン
トン

こんにちは
この辺に酒屋は
ありませんか

酒屋ならね
そこの道を
まっすぐ行くとあるよ

ここだな

あれ
お昼から
始めるのか……
うーっ

お昼までは
まだ間があり
ますねえ

そんじゃ
お昼になったら
この酒屋にもどる
ことにしてよ
この島散歩しようぜ
それが
いい
ですね

イエ
イエ
るん
るん

おっ

うえっへへっ
ツ
うまそうなカニだっ

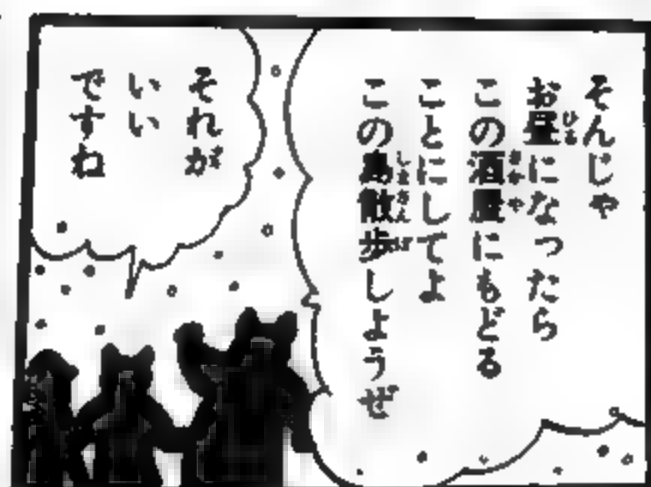
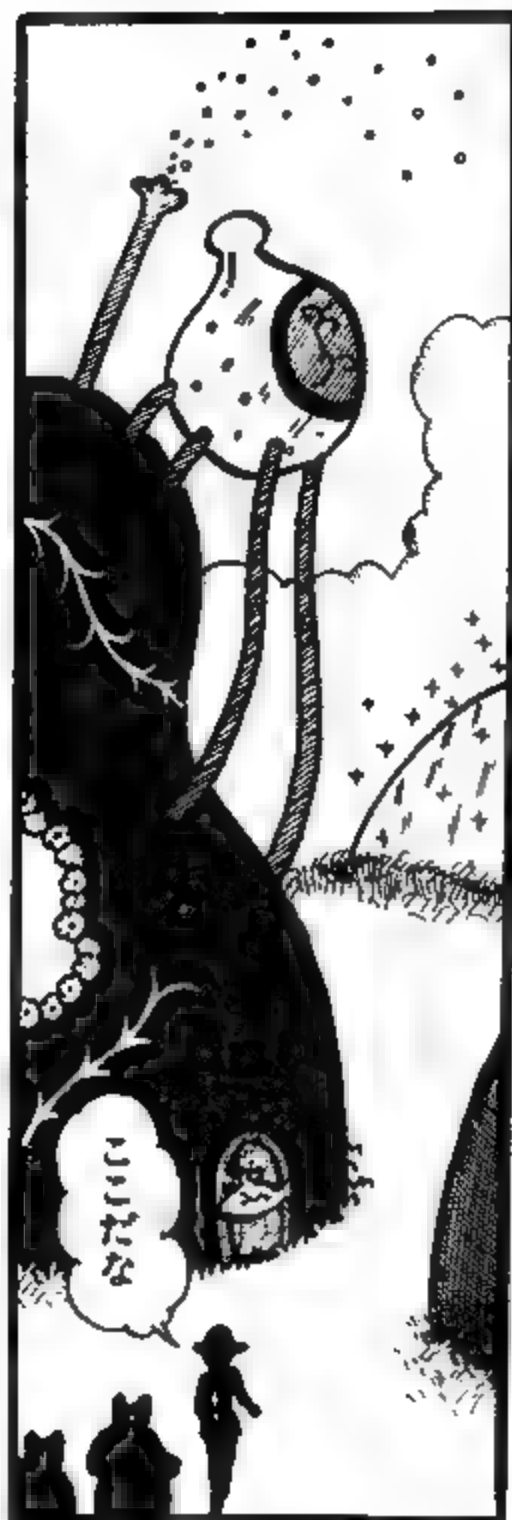
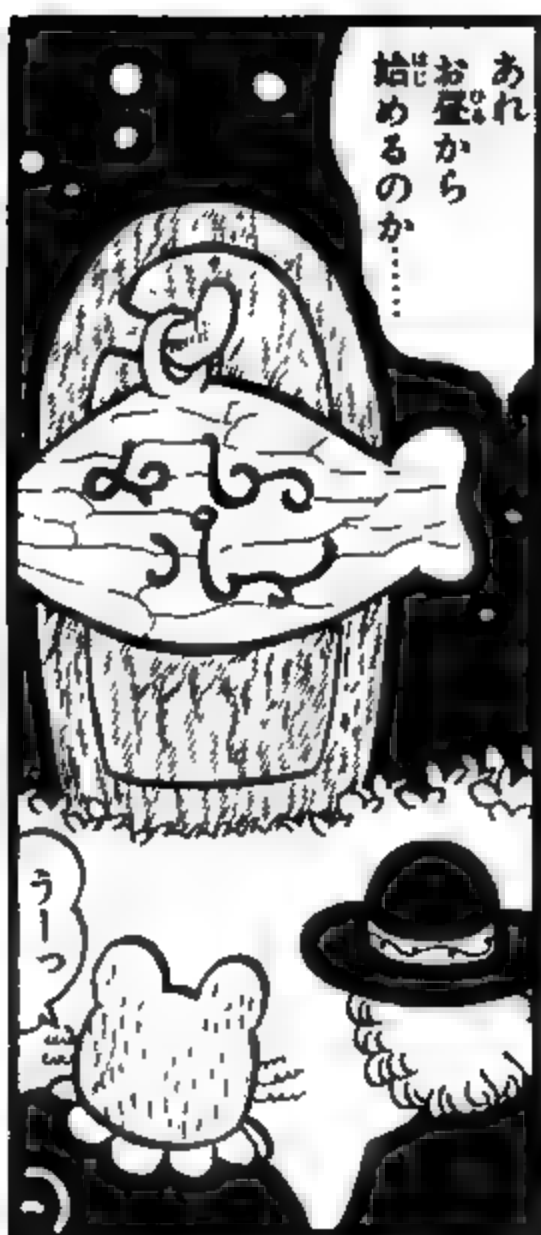
まてっカニッ
スルスルッ

ハアハア
ザザザッ

うーくそにげ足の早いカニだ
パン

あれ……

ザバッ

なんだ
これは
……

そのころ
テンプラと
唐あげ丸は
ペチャ
クチャ

しかし
のどかな
島ですね
エエ
ほんとに…

あいつら
〝パロ〟に
向かって歩いて
行くぜ
……よし!!
あとを
つけて
みよう

なんでしょう
こっ　この草の
山は………

この穴はなんだろう
フーム
あいつら〝パロ〟を調べているぜっ
だっだいじょうぶさ…なにもわかりゃしないよ
あれ。。。

フーム

うおう
ボカ
ボカ
バリ
バリ

唐あげ
さん
うう

いったい
どうしたん
ですかっ

私が
バイオリンを
ひこう
としたら

急に
何者かが
なぐり
かかって
来たの
です…

あ………
バイオリンが

ふみ
こわされ
てる……

るん
るん

そろそろ酒屋のあくころだな
アッ

ギンドラだ
あれはたしか海に投げこんだはずなのに……!!

イエッお酒!!
よう

あれ……どうしたんだ その棒？
カニをおっかけて行ったら波うちぎわで見つけたんだよ

フーン
どうしたおやじ元気がないね
何者かに大切なバイオリンをこわされたんですよ

ようし!!酒をたっぷり飲んでからそいつをこらしめに行こうぜっ

イエイエ

う

この島……
少し変だな
そう
ですね

この楽器も
変ですが……
さっき見た
あの四つの穴の
ある変な
草の山……
あれはいったい
なんなのでしょう…

私もさっきから
それを
考えていた
んですが
さっぱり
わから
ないんですよ
うーっ
なにをモタモタ
してるんだろう

ねえねえ
早く酒屋に
行こうよ
ドン

スポッ

そうだな
酒屋に行って
聞いてみよう

あれ
この形は……
……
あっ

たっ

あれん？
酒屋は
この道だっ
たっけ？
いいから
ちょっとついて
来てくれよ

大変だっ
みんなに
知らせなくては

そしたら

そいつが急に
バイオリンを
ひこうとしたんで……
あわてて
ぶちこわして
やりましたよ
そうか
あぶないところ
だったな

ところで
やつらの
ようすは
どうだった?
"パロ"の
まわりを
色々と
調べていました
したが
気がついて
いませんぜ

どうします
心配するな
……しかし
いちおう用心した
方がいいな

おーい
大変だっ
どう
した

やつら
ギンドラを持って
"パロ"に向かって
いますぜっ
なんだとっ

ギンドラは
海に投げ
こんだはず
なのに
それが…
海岸にうち上げ
られたらしく
やつらの仲間が
ひろい上げたら
しいんだ!!

くそう
こうしては
いられない
いそいで
とりもど
すんだっ
オウ

くそォ
あいつら
つかまえて
首ちょん
切ってやる!!

なんだ
この草の山？
それが
どうも
わからないんだ
……でもね

ちょっと
さっきみたいに
ドンとやってくれよ
こうか？
ドズン

だから
その棒は
この穴に
あうはず
なんだ

ホラ
この穴と
同じ形
だろう
うっ

ようし
さしこんで
みよう
おっ
あそこだっ
いそげっ
それっ
バリバリッ

シャラン

シャラーン

この草の山はオルゴオルだったのか!!

あれっ
島の連中だ

うお

ああ

キリ
キリ
キリキリ
キッ
キリ
キリ
キッ

この島の連中は
木の人形だったのか…

キリ
キリ

音楽を聞くと
人形にもどって
しまうから…
それで
私のバイオリンを
こわしたんだな……

キリッ
キリ
キリキリ

キリ
キリ

人形たちは
音楽に
あやつられて
自分の
キリ
キリ

舞台の上で
踊り始めた
キリ
キリ
キリ
キリ
シャラン
シャラン
えんど

# ぽえぽえぽん

くびくびお酒っんっんっうめえ!!

ダメだよ

ダメ？
ああっ飲むなら
つけをはらって
からにしてくれよ

つけか……
そういえば
ずいぶんと
たまっていたな……

プープープー
ドン
ドドンドン

ようし
まってな
オヤジ
がっぽりと
金をかせいで
つけをぜーんぶ
返してやるぜっ

あれ
ヒデ丸どうしたんだい？
ド
ヒデヨシ君のおてつだいをして[illegible]んです
ヒデヨシの？
う
いらっしゃい

何やってんだ
おまえ?

わたくしは
占い師
お客様の
きょう一日が
手にとるように
わかるのです

でたらめ
言うんじゃ
ないよ

あなたは
きょう頭に
ケガをする!!

だから
ナベをかぶりなさい
ナベを!!

オッ
オッ
ほえ ほえ
ばん ばん

じょうだんじゃないよ まったく

おまちなさい 拝見料銅貨二枚っ

だれがそんなもんはらうかい!!
もしオレが頭にコブでも作ったら銅貨十枚でもはらってやるよ

いいですよ フエフエ

オヤジもどう占ってみない?

いや けっこう
私は占いは信じませんから

サッ

パンツの部屋
チュー

ザザー
いらっしゃい
そんなとこで何やってんだい？
ドドン
プカ

オレは占い師神の使いなのよォ!!

神の使い？……それじゃぼくが今まで何をやってたかわかるかい

フムッ

ぽえぽえぱん!!

テンプラはパンツとネズミトランプ二十番勝負をやっていたっ

フーム
それじゃ
勝負は
どうなって
いるか
わかるかい？
ストッ
ゴシャ
ゴシャ
むっ
テン
プラッ
バサバサッ
ヒラ
ヒラ

二勝

バサ
パンツ
バサ

ヒラ
ヒラ
ヒラ

八勝

フフッ どう?

……当たった!!

ザーッ
ザザーッ

プチッ

ガッ
いてっ

ヒューン

フッフッフッ
残りの勝負の
結果もオレには
わかってるのよォ
えっ？

いったい
どう
なるんだ？

バサ
ぽえ
ぽえ
ぱん
バサ
バサ
残り十番勝負の結果は
モジャ
モジャ
白い花びらが九枚に赤い花びらが一枚……ということは
そう!!
テンプラが九勝でパンツは一勝なのよォ!!
ようしやってみよう
ニャンニャン拝見料銅貨二枚ずつね

どうも
あー痛てぇ

どうしたんだい？タクマ

頭に草の実が落ちて来たんだよ
おいヒデヨシッおまえが細工して落としたんだろう!!

インチキなんかじゃないわよ
オレには未来が見えるのよォ

ハイハイ約束どおり銅貨十枚ネ

くそ……しかしインチキくさいなあ
インチキかどうかこれからわかるよ
フエフエ

スッ

チュ
ヒデヨシの占いが……当たった!!
そっそんなばかな!!
フーム……これは変だな…
フエフエきょうは銅貨が十四枚か
うまく行きましたね
フフッひみつよひみつ
ハイッきょうのおだちんね
どうも

日がたつにつれて
ザザ～ッ

ヒデヨシの占いは
ますますピタリと当たり
拝見料も高くなって
行きましたっ
オオッ
ぽえぽえ
ぱん

あなたは今日の夜
気分が高まり
新しい曲を三曲
作るでしょう
そう
ですか

拝見料
銅貨
五枚ね

しかし…
どうして
あいつの
占いが
当たるんだ
ろう

……テンプラ
これ見てみな

ぽえ……
ぽ……え
ぱん

しかし
これずいぶん
へたくそな
字だなあ
うん
ヒデヨシが
書いたんだよ

え!?

あいつ字が
読めないだろう
それで何かから
写して来てオレに
■んでもらったんだよ

オオッ

ぽえ
ぽえぱん

きょうももうかったなあ
ジャラジャラ
うへへへ
ヒデヨシの船室

さてと……そろそろ明日の準備にとりかかるか
フフ

あれっ急に静かになったぞ

ピクピク

おかしいなっヒデヨシの気配がしないぜ
えっそんな!?

カチャ

やっぱり
いないぜ
変だなあ
フーム
あ

穴だ

毎晩船室から
出て来ないと思って
いたら…………
あいつ穴■ってたのか

あれ

ぽえぽえぱん

あっ

おい ヒデヨシ
ど
どうして ここが わかったんだ!?
おまえの部屋の あの穴を通って 来たんだよ
ぐ
部屋のカギを かけわすれちまった……
フムフム そうか……

……「ぽえぽえぱん」と叫びたまえ

明日の天候・船員の行動を予知し安全な航海を……
——リンゴ丸造船主
フ・ゴナー——

なんだ おまえ自分の 明日を調べて おかなかった のかい？

イエッ
自分の一日が 先にわかったら おもしろく ないからねっ

ところで…… どうして 穴なんか 掘ったんだい？
毎晩あんまり 腹がへるもんでよ 食料倉庫に向かって掘った はずが方向まちがえた らしいのよォ
フフッ でもよ

こんなに もうかったから つけも返せるし
もう占いなんか どうでも いいのよォ
それじゃ みなさんお先に おやすみ ねーーっ

フーム ぽえぽえ ぱんか…

よし だれかの 明日の行動を 見てみようぜ
そうだな……では 明日のヒデヨシだ

ぽえ ぽえぱん

あれあいつ
あんな所で
金を数えて
いる

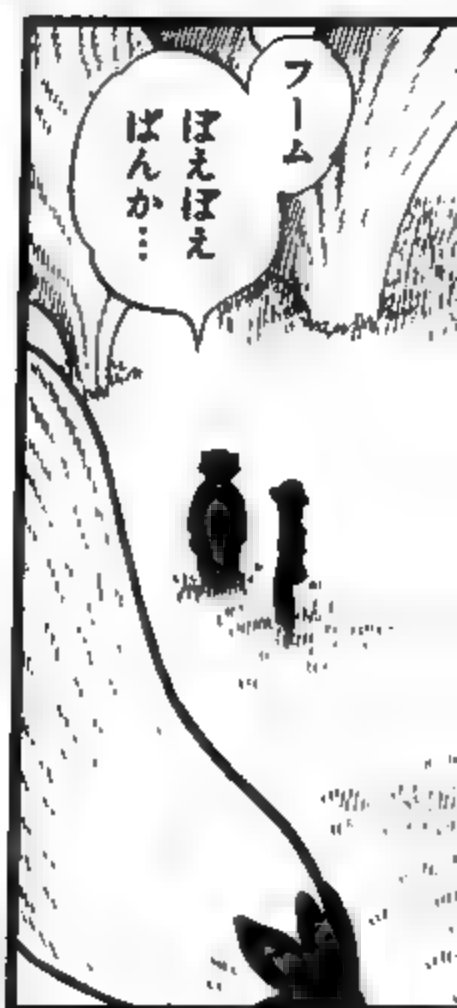
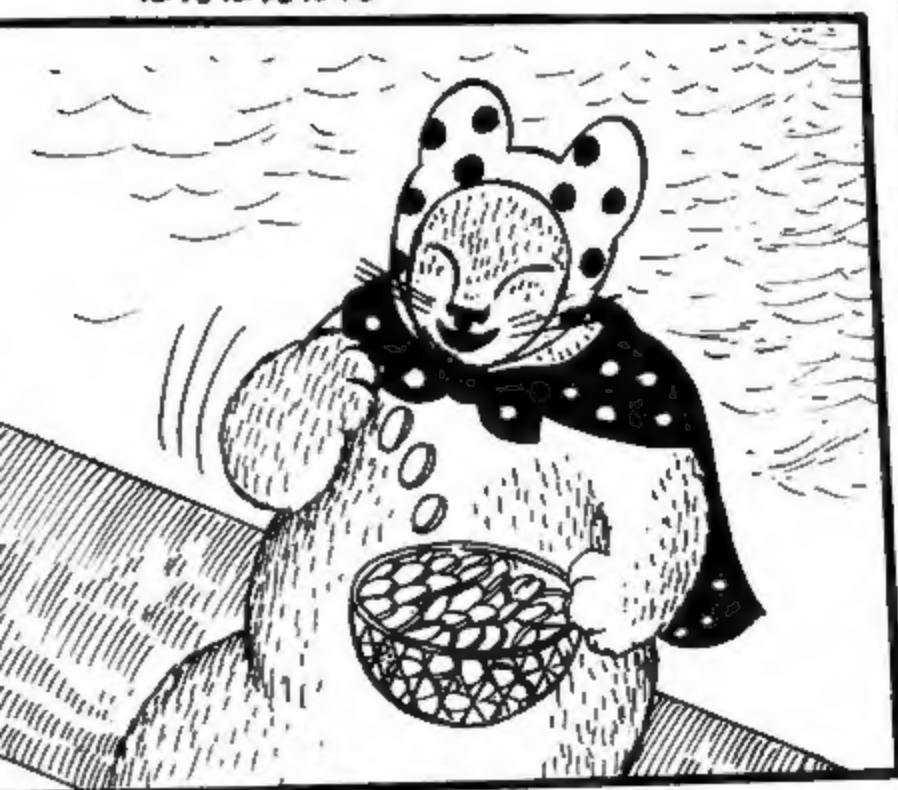
しかし
ずいぶん
かせいだもんだ
なあ

ぐらっ
ああ

これは
ヒデヨシに
教えておいた
方がいいなっ

そうだな
やっぱり

えんど

アタゴオル物語③◉おわり

## 【初出誌一覧】

| | |
|---|---|
| しゅるしゅるばあん | 1978年「マンガ少年」10月号掲載 |
| 流れ星を呼ぶ男 | 1978年「マンガ少年」11月号掲載 |
| 魚つりのサンバ | 1978年「マンガ少年」12月号掲載 |
| ばるばらん | 1979年「マンガ少年」1月号掲載 |
| 遥々森の音楽家 | 1979年「少年少女SFマンガ競作大全集」3月号掲載 |
| 果てしなき水の旅 | 1979年「マンガ少年」2月号掲載 |
| バロバロ島 | 1979年「マンガ少年」3月号掲載 |
| ぼえぼえばん | 1979年「マンガ少年」4月号掲載 |

Hiroshi MASUMURA
ATAGOUL

ますむら・ひろし作品集[三]

# アタゴオル物語 3

ばるばらん

昭和62年12月31日初版発行

著者　ますむら・ひろし
©Hiroshi Masumura
発行人　喜久村　繁
装幀　羽良多平吉
発行所　株式会社朝日ソノラマ
〒104　東京都中央区銀座4丁目2番6号
第2朝日ビル
TEL(563)6021
振替　東京2-40311
印刷所　フォト印刷株式会社
製本所　光和製本株式会社
☆乱丁・落丁がありましたら、おとりかえします
ISBN4-257-90096-2